



2025.4.3 (木)
第 36 回例会
(通算3798回)

2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人
副会長 吉田 英一
幹事 東堂 光春
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
 0154-24-0860  0154-24-0411

2024-2025 年度
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度
R1会長 ステファニー・A.アーチック
第 2500 地区ガバナー
小谷 典之 (帯広西 RC)

本日のプログラム 下期情報集会報告会 (クラブ研修委員会)

次週例会 職場訪問例会医療法人社団 三慈会 釧路三慈会病院 (職業奉仕委員会)

- ロータリーソング：奉仕の理想 ■ ソングリーダー：須藤 隆昭君
- 会員数 104 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間 高橋 直人会長

会員の皆さん、こんにちは。昨日は釧路北ロータリークラブで、安平和彦パストガバナーの講演がありました。当クラブからも小船井パストガバナー、吉田パストガバナー、荒井会長エレクト、横田次年度幹事、吉田副会長、東堂幹事と私が参加してきました。大変実りある講演でした。その中で、私も話したいことがたくさんありますが、まだまとまりがついておりませんので、まとまり次第、皆さまにご報告させていただきます。



今日は前に話した健康寿命についての第二弾を話させていただきます。

妻が毎日、数杯、美味しそうにコーヒーを飲んでいる姿を見て、思い切って体にいいのかなと思って調べてみました。全日本コーヒー協会の発表によると、10の効果が認められています。死亡リスクを低下させる。ガンを予防させる。循環器系に作用する。消化器系に作用する。糖尿病を予防する。肥満を抑制する。認知機能・学習能力を高める。神経系に作用する。抗酸化力を活性化する。抗加齢力を高める。このようにたくさんの効果が期待されております。

その中でも、興味深い認知機能・学習機能を高める効果について詳しく調べてみました。脳の神経細胞が破壊されることで起きる認知症、進行をある程度遅らせ

ることができるものの、今のところ特効薬はなく、一度発生したら完治はなかなか難しいと言われております。身近な病で、自分を含め家族が発症することを考えると大変感慨深いものがあります。

コーヒーの有効成分としては、クロロゲン酸がよく知られていますが、実は焙煎の課程で壊れて行くそうです。その代わりに熱によって反応が進んで増えるのがピロカテコールという成分だそうです。このピロカテコールが有効成分だと研究されたそうです。ですが、このピロカテコールは化学物質の生物学的に作用して劇物とされるようです。ですからサプリメントとして販売することはできません。しかし、コーヒーに含まれているピロカテコールの量はとても少ないので毒性が出ず、体にいい効果が出るようです。コーヒーは微妙なバランスの飲料ということです。

皆さんも毎日のリラックスタイムに、食後に、ぜひともコーヒーを取り入れてください。アルツハイマー型認知症の予防にも一日3杯くらいが適当のようです。また、カフェインは関係ないようなので、寝カフェでも良いそうです。

私も妻もコーヒータイムを毎日行って健康寿命を延ばしていきたいと思っております。

以上で本日の会長挨拶とします。今日も楽しい例会にしましょう。

もうひとつ、本日、新しい事務局員の方がお見えになっております。

小野田伸子様です。大山さんの代わりに4月1日から引継ぎをしているところです。

登壇の上、一言、ご挨拶をよろしくお願いいたします。

新事務局員あいさつ

小野田 伸子さん
皆さん、こんにちは。名前はおのどのぶこと申します。4月1日からお世話になることになりました。一生懸命に頑張りますのでよろしくお願いいたします。



幹事報告 東堂 光春幹事

会員の皆さん、こんにちは。4月度のロータリーレートは150円となっておりますのでよろしくお願いいたします。

本日、例会終了後、第10回理事会を開催しますので理事者の方は3階の雪の間にお集まりください。

2500地区より、2月下旬に発生した大船渡大規模山林火災での災害を受け、支援金のご協力のお願いが来ております。先ほど募金箱を回しておりますが、まだお済でない方はお帰りの際に募金のご協力をよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ 下期情報集会報告会

クラブ研修委員会 杉村 莊平委員長

皆さま、こんにちは。情報委員会です。過日、3月の17日から28日にかけて情報集会を開催させていただきました。「90周年に向けて」という題で各グループが有意義な会をしていただいたと聞いております。



それでは時間もありませんので、Aグループからお願いしたいと思います。名前はお呼びしませんので、その次、その次ということでお願いできればと思います。それではよろしくお願いいたします。

Aグループ 桑原 岳広会員

皆さま、こんにちは。北電ネットワークの桑原です。Aグループの報告をさせていただきます。3月26日、杉村委員



長にもご参加いただきまして濱谷リーダーの下、『八喜寿司』さんで、6名による情報集会を開催いたしました。

話題が多岐にわたってオフレコの話もあり、活発な議論が行われて非常に楽しい情報集会となっております。

90周年に向けて釧路ロータリーの活動についてということで、自由な意見交換となりました。今日はその中の意見を少しご紹介させていただきたいと思えます。

議論は釧路ロータリーの活動を広く地域に知ってもらうためには、というところから始まりました。意見としては、活動自体をPRするというよりも、活動自体を地域の方々に求められるような活動、地域貢献により軸足を置いた活動を積極的に行っていくのが良いのではないかと、という意見が出ておりました。

ただ、活動自体を否定する意見はなかったのですが、活動の在り方については、釧路ロータリーの和やかな和気あいあいとした寛容な良さを失わない程度に、程よい活動にすべきというような意見があり、むしろクラブでのつながりを深めることでロータリーの活動以外でも地域に貢献できることもある、というような意見も出て、皆さん納得されていたということです。

次に、いま地域に求められることはなんだろうかという話題になり、そのひとつとして釧路地域の活性化が挙げられました。観光分野で盛り上げていくのがいいのではないかと、という意見や、キーワードとして出たのは『シビックプライドの醸成』が大事だという意見がありました。地元の方は、これまで釧路のことをあまり良く言わない傾向にあって、連鎖を止めることが重要である、という意見が出ておりました。

その一方で、地元民からすると、ずっと地元にいるとその良さに気付かなかったり、地元の良さをPRすること自体が恥ずかしかったり、上手く表現できないというような面もあるのではないかと、という意見もありました。

そういう面においては、釧路ロータリーには私も含めて転勤族がいて、転勤族が地元の方が気付かない良さというのを知っているはずだと。なので、転勤族の方々に釧路の良さ、魅力をPRしてもらうのがいいのではないかと、という意見も出ておりました。私も転勤族で、こちらに来て9カ月になりますが、釧路の地元の方々の人々の良さにふれることも多くて、自然の美しさや夏の涼しさにふれて、釧路地域は魅力にあふれていることを実感しております。私も魅力を地域に発信していきたい、そういうことで盛り上げていきたいと改めて思った次第です。

一方で釧路ロータリーの方々の地元の方々の役割という話になって、ロータリーのメンバーの方々は、釧路で

もそうそうたるメンバーの集まりです。そういう意味では、経営者としての釧路での成功体験などを、地元のメンバーによる若者へ出前授業などを行っているのもいいのではないかと、という意見も出ておりました。その後も話題も尽きることなく時間いっぱいまで議論は続きました。メンバーからは「今日の座談会の議論自体を若者に聞いてもらいたい」という話も出ていました。

最後は杉村委員長から「非常に良い情報集会でした」というお褒めの言葉をいただいて会を終了いたしました。

以上です。

Bグループ 曾我部元親会員



こんにちは。Bグループの発表をさせていただきます、曾我部です。私たちBグループは3月24日に『ぼくぜん運動公園』で開催をしま

した。参加者は、杉村委員長をはじめBグループからは6名、別グループから青田さんと前田さんが参加をし、合計9名で開催をいたしました。

冒頭、杉村委員長から「まずは70周年の時に会長だった青田さんがせっかく参加しているので、その話からスタートしましょう」ということで始まりました。

青田さんからは、70周年はつなぎの周年なので、まずは規模を大きくせず、中身重視で開催しようということになったそうです。目玉企画として、ホームマックの石黒会長に講演を頼もうとなったのですが、伝手(つて)がないということでいろいろ探したところ、滝越さんがお仕事の関係でお付き合いがあることから滝越さんに講演担当委員長としてお任せをしたということです。

当時の石黒会長は、講演を引き受けない方だったらしく、滝越さんはおそらく4回も5回も訪問をして、なんとか決まったのではないかと話しておりました。せっかく石黒さんが講演してくれることなので、基調講演は一般開放しようとなったそうです。事前の周知で新聞広告はもちろんなのですが、FM放送で話したらどうかとなって、これは小船井さんをお願いしてFMくしろの番組の中で宣伝することになったそうです。青田さんと吉田潤司さんがこれに出演をして、20分の枠でしたが、15分を青田さんが話したので、終わった後で奥様からきつく叱られたと言っておりました。

FMでの告知というのは効果があるので、今後、ロータリーの活動を放送の中で宣伝するのもいいのではないかと。同時に、「会員増強にもつながるね」という

話も出たのですが、会員増強について皆さんは、自分から入らしてくださいという方はいなくて、つながりから入ってくることが多いので、会員増強と周知については分けた方がいいのではないかと、という意見が出ておりました。

次の90周年に向けてということで、担当となる会長は、非常に个性的で明るい方だと思うので前例にとらわれず、会長のキャラを前面に出した周年事業にしたほうが良いという意見が出されていました。誰が言ったのかメモしてないのですが、アドバイスとしてはゴルフと同じで、固く構えず力を抜いてやるほうが良いと言っておられました。おそらくゴルフの上手い方の発言ではなかったかなと思います。

最後に、谷川さんが乾杯で締めたのですが、私の記憶が確かであれば、谷川さんが「なかなか普段例会に出られない。90周年についてはどんなことでもやるので言ってくれ」ということで締めたという情報集会になっております。

以上です。

Cグループ 藤井 敬亮会員

Cグループサブリーダーを務めました藤井です。3分ほどというので簡潔にまとめてまいりました。

Cグループは、テーマ90周年へ向け地域に奉仕活動を知ってもらうためにということで話し合いました。出席者は、市橋リーダー、吉田潤司さん、尾越さん、大道さん、川本さんという重鎮をはじめ、西池さん、羽田さん、八幡さん、クラブ研修委員会から後藤パスト会長という、総勢10名で開始いたしました。

乾杯の飲み物がそろう前に、後藤パスト会長から情報委員会の立場でこのテーマについての説明があり、その後、フリートークになりました。

内容としては、100人以上の会員を維持する釧路ロータリーには、その力と魅力があるという尾越さんの力強い言葉から始まりました。「ロータリーソングは毎回歌っているけども、世界共通なのか日本共通なのか」などいろいろな謎の話もありました。

最近の他クラブの周年事業というのも質素でこじんまりとしているらしいですから、テーマの90周年の事業も質素にして100周年に集中するのがいいのではないかと意見もありました。

微妙に今回の炉辺会合のテーマとずれているかなと思っていたのですが、西池さんが「実は、今回の会合に合わせてチャットGPTにあらゆるロータリークラブの情報を読み込ませて、会合のテーマに対する



回答を導き出してプリントアウトして来た」と言うのです。

配られたA4両面に書かれていたのですけども、その回答を読んでその日のテーマに関する話し合いは終了したかなというような感じがしました。

その後は、重鎮の方々のロータリーの昔の話とか、主に尾越さんの暴露大会ということになりまして、非常に有意義な会合となりました。

今回の会合で学んだことは、このような忌憚のない暴露話こそが100人を超す会員を釧路ロータリーが実はどこかで結び付けて、一塊にしているのではないかなということです。

Cグループの発表のまとめとして、今回のテーマに対するチャットGPTの結論で終わらせていただきたいと思います。

結論、「アピールや宣伝は、単なる自己顕示ではなく、奉仕の精神を広める。地域とのつながりを深める。未来につなげるために必要です。特に90周年という節目を生かして、これまでの活動を地域に発信し、次世代へバトンを渡すための広報活動を計画的に進めることが重要です」という優秀な回答です。西池さんありがとうございました。

以上、Cグループの発表でした。ありがとうございました。

Dグループ 小林 祐介会員



小林です。情報集会Dチームにおりました。発表できる範囲で報告したいと思います。Dグループは、3月28日に『はたご家』さんで開催

しました。メンバーは石田さん、及川さん、チームリーダー佐藤さん、工藤さん、私小林と研修委員会から杉村さんにご参加をいただきました。

テーマの90周年に向けてというお題では、会長エレクトの工藤さんが一緒の席にいることから、まず工藤さんを皮切りに話を伺いました。

工藤さんからは、特に釧路クラブ独自の取り組みということで、嵯峨記念育英会へのとても強い思い入れと、ぜひ未来に向けて継承発展して行きたいというところをいかにするか、こういう非常に熱いお気持ちをお聞きすることができました。

そこを皮切りに皆さんで話をし、中心になったのは、公共イメージを高めていくためにはいかにしたらいいのかの観点が議論の中心になりました。

釧路クラブは、これまでも長年地域にさまざま貢献をしてきたことで、貢献のヒストリーを一度整理して、みんなに開示をしてみたらどうだ、というところ。興

味を持った人に深く気づいていただきましょう、という観点でアーカイブを作成・整備することで、このクラブの奥深さを気付いていただく用意をする、という話も出てきました。

その他、活発な論議がありまして、リーダーの佐藤さんがおりましたけれども、ほぼ仕切りゼロでどんどん話が進むというような展開になったと思っております。

その他いろんなヒートアップもありました。やはり話題は、釧路クラブは100名を超える3桁の会員数を誇るというところ、このクラブの良さをどう維持発展させていくかにも話が及びました。このような多くの人数がいることで多様な業種、いろんな出会いがあるところの大切さは非常に価値のあることに意見をひとつにしたものの、人数だけを追いかけることについては、そればかりではないのではないかという話もありました。

事例に基づいて、いろいろなクラブの負の面、数を追いついた結果で大丈夫かなという所で負の面も。私もまだ3年目ですので、この業界のわからないところですけども、事例に基づいてわかりやすく勉強させていただいたなと思っております。

最後は、石田さんから「どういう人がクラブの門をたたこうとするのか。これは現役の会員の映し鏡です。クラブの魅力というのは私たち自身、会員一人一人がより魅力的な存在になることが必要なのではないか」という非常にありがたいお話いただきまして、見事締まったという形になりました。

本当に臨場感あるいろいろな話が飛び出して、ちょっとすみませんその他いろいろお話があったのですけれども、この場では一応すべてカットとさせていただきたいと思います。

以上です。ご清聴ありがとうございました。

Eグループ 戸川 達雄会員



Eグループは3月26日に『申焼ワインバル華蔵』で小野寺さんをリーダーとして5人で開催しました。意見交換は非常に盛り上がったの

ですけれども、その中で、嵯峨記念育英会の話になりました。

奨学生で通われた方がその後、社会に出られている方が多々いらっしゃいますが、そういう方に来ていただいて近況を語っていただくのはどうだろうか、という話がアイデアとして出ていました。もちろんその中には「今は、ちょっと」という方もいるかもしれませんが、何人か話してもいいという方がいれば、その後、

こういう志で頑張ってきて、今はこうなっています、
というような話ができたら非常にその意義などを改めて振り返ることができるという話がありました。

また、「釧路空港に釧路ロータリークラブの名前で『ようこそ釧路へ』みたいな看板を出したらどうだろうか」という話が出ました。そこで私の顔を見て「そうだ、釧路駅もあった」ということから「釧路空港や釧路駅に看板を出したらどうだろうか」となり、もてなしの気

持ちが出るのではないだろうか、と話しておりました。

議論が進む中で、台湾との交流の話になり、「子どもたちの交流はできないだろうか」という話になりました。ひとつの考え方として、「例えば、中学生の野球大会があるので、いつもとはならないけれども、節目の時に台湾の子どもたちに野球大会と一緒に参加したらいいのではないか。お金のかかる話かもしれませんが、そういうこともある」という話が出ていました。

以降は、お騒がせしている『釧路湿原ノロッコ号』などの鉄道談議で、小野寺さんと話をさせていただく機会がありましたので大変有意義で盛り上がる会合になったと思います。

以上です。ありがとうございました。

Fグループ 須藤 隆昭会員



Fグループの会場は『焼肉居酒屋ぎゅう太』さんで行いました。「元気ですか!」と叫びたくなるほどお店でいただいたお肉は、普段は

赤い物しか食べたことのない僕にとっては、とても白い物がいっぱい並んでいて、元気いっぱいいただきました。

「90周年に向けて地域で奉仕活動をしてもらうために」ということで、邵リーダーの下、参加者10名くらいが集まり活発な話し合いが行われました。

1936年に30名のメンバーでスタートした釧路ロータリークラブは、皆さんに「歴史と伝統のある」とよく言われますけれども、「本当にそうなんだ」と実感できました。

前回の80周年の実行委員の方から話を聞きました。その時は、「中学校の野球支援、その後、学校は変わったけど甲子園に行ったメンバーがいる。あるいは数学検定試験の支援を行ったところ、全国平均を上回る数学の点数を取れた、という形で目に見えて行った支援の結果が出ている」と報告されて、「行ったことは無駄ではないのですね」という話になりました。

「嵯峨育英会の支援を受けた方の中からも有名な大学に進んだ方も結構いる」と伺いました。

そして、「90周年にはどういうことを行いましょうか」となった時には、「そもそも、ロータリークラブは何をする会なの」とか、「奉仕と貢献は違うの」とか、「なんのための地域奉仕活動なのか」という根本的な意見も出て、そういうところから考えなければいけないということにもなりました。

出た意見の中では、「広く活動を知ってもらうには新聞に公告を出すのもあり、有名人のコンサートをしたり、花火大会をしたりするのもあり」「少子化の中、学校でスポーツや学力維持が難しいので、子どもたちの支援が大事ではないか」「地域の子どもたちに特化したものを行う」など、子どもとか未来を担う人のことが何人かから出されていました。

「国際協力も大事ですけども、釧路にとっては釧路の地域のためになることに奉仕をしていきたい」「立派に90周年を終えて、次の100周年に向けた」「90周年は工藤会長に思う存分にやっていただいて、そのバックアップをしていきたい」という意見も出ました。

数々の意見が出て、Fグループは脱線することもなく、暴露話のひとつくらいはあったのですけれども、あまりないまま終わりました。

蛇足になりますが、高橋会長の目の前の席でしたが、焼肉の焼き方と、それをサーブするのがプロ級にうまいのです。そういう所で働いていただろうと思うくらいビックリしました。その向かいには吉田副会長がおりましたが、一見怖そうですが、マッコリを飲んでいる顔がとても柔和な顔で、優しい方なのだという新鮮な発見があり、楽しかったです。ありがとうございました。

Gグループ 山原 活志 会員

皆さん、こんにちは。今回は、今回、例会に来たのは数年ぶりということですので。皆さん、初めまして。ご無沙汰しております。無事に生きておりましたのでご安心いただければと思います。



Gグループは3月17日、あの大雪の降った日に、浅川リーダーをはじめ、5人という少人数で行いました。冒頭、後藤委員から80周年の記念事業で数学検定を行ったと報告がありました。その時、僕は入会して1~2年目の時、副委員長の時でしたが、継続で数学検定で確か城山小学校に行って、小学生が真剣な眼差しで受けていたことを思い出しました。

90周年の事業としては、「メンバー向けがいいのか、それとも一般向けか」という話がありました。面白い

ところでは、「前市長と現市長を呼んで対談をさせたらどうか」という話もありました。あとは「フルマラソンをしたらどうか」もありました。

予算のことも少し聞いて、「なかなか予算もない中で」という話でした。

以上、Gグループの報告でした。ありがとうございました。

Hグループ 残間 巖会員



Hグループの残間です。Hグループは3月28日に協リーダーの下、4人と委員会から滝越パスト会長にお越しいただき、計5人で行いました。

私は、クラブに入って1年と少しですが、協リーダー、吉田秀俊さん、白幡さん、滝越パスト会長ということで、重鎮のお歴々がいる中で、いろいろな昔の話を伺いながら、このクラブの歴史を私に教えていただいた、ひょっとしたら私だけが勉強になったいい時間だったのだらうと思っています。

嵯峨記念育英会のことで吉田秀俊さんが北海道新聞から、嵯峨久さん、晃さんの過去のご功績をクラブ以外の皆さまに広げるために記事にできないかと依頼されているそうです。ただ過去の情報がないなどがあって記事にするのにご苦勞をされていると聞いております。財団で嵯峨久さん・晃さん親子を世に知ってもらおうべく、例えば、クラブの広告を出して記事ができないか、という話がありました。

釧路地域にとって、これからの未来がある方ということでは、これも吉田秀俊さんの姪のお子さんとランペッターの児玉隼人君という高校生でいろいろなコンクールで一番になっている方がいます。例えば、「釧路出身の音楽家・アーティストがたくさんいますので、そのような方でコンサートを行うのはどうだろう」という話も出ておりました。

これは周年とは関係ないのですが、釧路クラブには転勤者が多いということで、「転勤者を大事にしない

といけない。転勤される方には釧路のファンになっていただいて、後々、釧路のことをPRしていただいたりして、また釧路に帰って来ていただいたりして、コロナ禍以前には急遽、有志を集めて送別会を行っていたようです。コロナ禍以降、行われていないので、これを復活させてはどうか」という話もありました。

Hグループは以上です。ありがとうございました。

Iグループ 濱口 憲太会員

Iグループの濱口です。時間がないので簡単に報告します。

18日に『鱗』さんと、5名で行いました。私はサブリーダーなのですが、前の日に雪かきで足を痛めてしまって欠席になりましたので、独自の聞き込みでまとめました。

90周年に向けてでは、記念講演の講師をどなたに依頼するべきかの話がありました。地域の大勢の方にお越しをいただきたい、私たちの奉仕活動を大勢の方に知っていただきたい、ということで誰がいいか、という話になって「その検討が大事だ」となりました。

予算もありますが、講師への講演料もそれなりの規模に考えたいので、70周年・石黒社長、80周年・志田先生、90周年はやはり同様に釧路出身、または北海道に関係ある方をお願いすべきということで、大樹町の宇宙事業に携わっております堀江貴文さんはどうだろうと盛り上がっておりました。

これから1年半後ですから、計画的に、早期に動いていくことが大事です。90年に向けてクラブ会員一人一人の思いを強めていくことが大事だろうという話で終わりました。

「楽しく美味しいお酒を酌み交わしながら話をすることができました。これぞ情報集会・炉辺会合の醍醐味だ」という集会でした」と土橋リーダーが仰っておりました。

以上です。



本日のニコニコ献金

- 天方 智順君 息子がやっと社会人になりました。ながかったなあ。
- 樋口 貴広君 長男が志望大学に合格し札幌での一人暮らしをスタートさせました。心配です。
- 篠原 信雄君 奥様誕生日

今年度累計 441,000円